

## 米国 カリフォルニア州のサクランボは大幅減収、ワシントン州は順調

[FreshPlaza 2025年5月22日](#)

カリフォルニア州の2025年のサクランボの出荷シーズンは、収穫量が大幅に減少すると予測される中で始まる。専門家は、異常な降水パターンと高い気温が開花のサイクルを乱したことにより、2024年と比較して収量が50%減少すると予想している。

サクランボの主要な産地であるサンホアキン郡では、潜在的な経済損失が1億ドルに達すると予測している。これを受けて、地元の農業委員会は、影響を受けた生産者を支援することを目的として、緊急支援を確保するための州当局による災害宣言を求めている。

このような宣言は、米国のサクランボの主産地であるワシントン州で2024年に出されており、その際には米国農務省が約1,500の生産施設に対して最大50万ドルの低利融資を行った。

カリフォルニア州では、サクランボの収穫は通常5月に始まり、6月上旬まで続くが、開花時期の変動により収穫が7月にずれ込むこともある。一方、今年の天候条件は最適なスケジュールに即していない可能性があり、カリフォルニア州の作柄は、コーラル、ビング等の品種で不調である。

対照的に、太平洋岸北西部の生産者は引き続き楽観的である。ワシントン州とオレゴン州の果樹園では、安定した降水量と長期間の寒波の恩恵を受け、成長に適した条件が醸成されている。

カリフォルニア大学農業天然資源学部の専門家らは、甘果アウトウの生育における、気温が華氏46度(摂氏7.8度)から凍結温度(摂氏0度)をわずかに上回る範囲にある「低温時間」の役割を強調している。この低温時間が不足すると、果実の品質と収量を損ない、カリフォルニア州の産地に影響を与える可能性がある。

サクランボは収穫後の品質保持期間が限られており、夏以降は出荷量と需要が大幅に減少することから、市場への迅速な輸送が重要である。

米国農務省によると、ワシントン州が引き続き米国のサクランボ生産をリードしており、カリフォルニア州とオレゴン州がそれに続いている。

生産者はまた、特にヨーロッパやアジアの主要市場において価格や需要に影響を与える可能性のある関税に関連する貿易上の不確実性に直面している。

出典: [Fox Weather](#)